

コミュニティ・スクールだより



令和8年6月25日

令和8年度第2回学校運営協議会を開催しました



6月17日（水）に令和8年度第2回学校運営協議会を開催しました。

当日は、本校の教育活動がグランドデザインや学年団別重点目標に基づいて行われているか、校内の子供たちの様子はどうかなどについて、参観会を通して実際に委員の皆さんに見ていただき、熟議を行いました。

【第2回学校運営協議会 式次第】

- 1 校長挨拶、校内視察の視点
- 2 校内視察
- 3 会長挨拶
- 4 議長の選出
- 5 前回会議録確認
- 6 熟議
- 7 報告
- 8 連絡

《熟議》

☐ 学校運営協議会委員

☐ 学校職員

（1）参観会視察について

子供たちはとても元気な様子でした。保護者も参加する授業が良いと思いました。



親子で一緒に作業したりグループで作業したりと、クラス全員が参加できる授業が多く、雰囲気もよかったですと思います。廊下に壁がないと、解放感がありますね。

学年ごとの変化を感じられる参観会でした。保護者が一緒に授業に参加できるようにする工夫が見られました。



学年ごとの成長が感じられました。グループ活動が良かったです。

道徳科の授業でちくちく言葉について学習する様子を見ました。以前と比べて子供たちが少しずつ落ち着いてきたので、引き続き言葉遣いについて指導することが大切ですね。

- (2) 本年度教育の重点「見つめる力」「かかわる力」について
(3) 課題の整理と改善の方向性について

参観会を観察したところ、多くのクラスがグループで協力する活動を行っていました。グループ活動などを通して「かかわる力」を培われていました。



「間違えても大丈夫だ」と安心できる雰囲気のカラスが多かったように思います。私が子供の頃は、間違えるのはだめなこと、恥ずかしいことという雰囲気がありましたが、なんでも発言できる、自分の意見を受け入れてもらえると感じられることは、とても大事だと思います。

学校の中ではできていることが、外ではできていないということがあります。地域全体がもっと子供を気にかけて、挨拶していくべきだと思います。先生方は子供たちと過ごす時間が長く、気になる部分に目がいついてしまうかもしれませんが、本当によく見てくれていると思います。



学校では、先生がすべての意見を受け入れてくれるという安心感が、子供にとって重要であると思います。

(4) 学校評価について

学校評価は、発達段階に応じて作成した「学年団別重点目標」を基にアンケートをつくり、保護者、児童、職員、学校運営協議会委員を対象に調査します。調査結果から、校内で「自己評価委員会」を行い、改善策を次回第3回学校運営協議会で報告、熟議していただき、後期の教育活動に生かしていきたいと思っています。

《学校支援コーディネーターからの活動報告》

- これまで学校が行っていた習字講師の支援依頼を、今後コーディネーターが行います。
- 4年生対象に、認知症講座コーディネートします。また、秋以降に障がいのある方についての講習会を実施する予定です。
- 5, 6年生家庭科で扱うミシンの授業サポーターを集めています。手縫いの指導についても1日に5名ほどサポートに入る予定です。

《その他》

- 学校運営協議会の開始時刻を午前9時30分からにしたいと委員から要望があり、次回より午前9時30分から開始することになりました。(終了予定時刻 午前11時)

《連絡》

- 次回第3回学校運営協議会開催日程確認
令和8年9月7日(月) 午前9時30分～午前11時 会場：会議室

学校運営協議会はいつでも傍聴できます。御希望の方は、事前に学校まで(452-3137)お知らせください。